

八代 嘉美

1 著書

- 1) 科学史事典、担当項目「再生医療」(丸善出版、in press)

2 学術論文

- 1) ヒトオルガノイド研究と社会との協働について、医学のあゆみ, in press (招待論文、査読無)
- 2) COVID-19 の薬事開発と社会との関係について、日本サイエンスコミュニケーション協会誌, 10(2), 2020 年 10 月 (招待論文、査読有)
- 3) 再生医療の基礎知識, 公衆衛生, 84(10) 681-686 2020 年 10 月 (招待論文、査読無)
- 4) 日本再生医療学会による社会とのコミュニケーションの試み, 科学技術社会論研究, 137-140, 2020 年 4 月 (査読付)

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 文部科学省 特定胚等研究専門委員会 委員
- 2) 日本再生医療学会 理事、代議員
- 3) 日本ゲノム編集学会 教育・実習委員
- 4) 日本ゲノム編集学会 倫理・規制委員
- 5) 慶應義塾大学 特定認定再生医療等委員会 委員
- 6) 蒲郡市民病院 特定認定再生医療等委員会 委員
- 7) 東京都健康長寿医療センター 特定臨床研究委員会 委員

5 社会貢献

- 1) 大阪大学社会技術共創研究センター キックオフイベント 講演、パネリスト (2020 年 7 月 3 日)
- 2) 日本再生医療学会 患者・市民参画セミナー「患者・社会と考える再生医療」東京会場 企画・講演 (2019 年 8 月 31 日)
- 3) 日本再生医療学会 患者・市民参画セミナー「患者・社会と考える再生医療」企画・講演 (2020 年 9 月 5 日)
- 4) 日本科学未来館イベント『Cinema 未来館』パネリスト (2020 年 10 月 25 日)
- 5) 日本再生医療学会 患者・市民参画セミナー「患者・社会と考える再生医療」企画・講演 (2021 年 1 月 26 日)
- 6) 日本医療研究開発機構 (AMED) 令和 2 年度 AMED 再生医療研究交流会 ム「動物を利用して臓器を作る」座長・オーガナイザー (2020 年 12 月 21 日)

6 講演, 放送

- 1) BS フジ なるほどなっとく塾「もしも不老不死が実現したら」(2020 年 9 月 13 日)
- 2) TBS ラジオ荻上チキ・Session-22「コロナ以後、社会をどう設計していくか? ～今、

あるべき科学コミュニケーションとは？」(2020年8月6日)

7 学会等での活動

- 1) ヒトオルガノイド研究と社会との関係について、第20回日本再生医療学会総会、2021年3月13日、東京
- 2) 再生医療研究への患者・市民参画に向けた社会学連携ユニットの取り組み、第20回日本再生医療学会総会、2021年3月13日、東京
- 3) 社会に対する日本再生医療学会の取り組み、第20回日本再生医療学会総会、2021年3月(オンデマンド)

8 学内教育活動

- 1) ヘルスイノベーション研究科「先端医療における責任ある研究・イノベーション(RRI I/II)」(1年後期前半、後半)
- 2) 再生医療特論(1年後期前半)
- 3) ヘルステクノロジー I/II(1年後期後半、2年前期後半)

9 学内各種委員会活動

- 1) ヘルスイノベーション研究科 研究倫理委員会 委員長

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) セコム科学技術振興財団「効率的な再生医療の提供に向けた政策課題解決のための研究」(研究代表者)
- 2) 日本学術振興会「RRIの新展開のための理論的・実践的研究ー教育・評価・政治性に注目して」(研究分担者)
- 3) 日本学術振興会「科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題(ELSI)への包括的実践」(研究分担者)
- 4) 厚生労働省委託事業「認定再生医療等委員会における審査の質向上にむけた研究」(研究分担者)
- 5) AMED 再生医療実現拠点ネットワークプログラム「再生医療研究とその成果の応用に関する倫理的課題の解決支援」(研究分担者)

12 受賞

- 1) 日本科学技術社会論学会 柿内賢信記念賞

14 その他

新聞掲載

- 1) iPS、世界と隔たり 集中投資も存在感乏しく (日本経済新聞 2021年1月10日)
- 2) 広がる臨床研究・治験 iPS実用化 コストの壁 細胞製造「複雑な工程」(読売新聞 2020年10月28日)
- 3) [サイエンスReport] 新政権の課題(中) iPSに予算集中の功罪(読売新聞)

2020 年 10 月 4 日)

- 4) 再生医療審査 依頼先偏り 病院側 通やすさで選別か (読売新聞 2020 年 5 月 31 日)
- 5) 政治と科学 問われる分担 (京都新聞 2020 年 5 月 28 日)